



国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

2022年3月期 第2四半期
決算説明会資料

2021年12月10日

国際紙パルプ商事株式会社

[9274]

1

会社概要

2

2022年3月期 第2四半期業績

3

第2次中期経営計画 進捗状況

4

事業内容・戦略

5

参考資料

1

会社概要

2

2022年3月期 第2四半期業績

3

第2次中期経営計画 進捗状況

4

事業内容・戦略

5

参考資料

創立97年の紙卸売代理店

会社名	国際紙パルプ商事株式会社
設立	1924年11月（大正13年）
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 田辺 円 代表取締役 社長執行役員 栗原 正
本社所在地	東京都中央区明石町6-24
資本金	4,723百万円
従業員数	5,530名（連結）

大株主* (2021年9月末)	王子ホールディングス株式会社	17.3%
	日本製紙株式会社	9.2%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	6.4%
	株式会社みずほ銀行	3.9%
	国際紙パルプ商事従業員持株会	3.8%
	株式会社三菱UFJ銀行	3.5%
	株式会社三井住友銀行	3.5%
	農林中央金庫	3.5%
	北越コーポレーション株式会社	3.4%
三菱UFJ信託銀行株式会社	2.9%	

※ 持株比率は自己株式を控除して計算

当社グループ（子会社100社・関連会社6社）の主な関係会社

国内拠点紙パルプ等卸売事業		海外拠点紙パルプ等卸売事業
連結子会社 鳴海屋紙商事（株） 大同紙販売（株） 桔梗屋紙商事（株） 岡山紙商事（株） 九州紙商事（株） むさし野紙業（株） （株）グリーン山愛 KPPロジスティクス（株）	持分法適用関連会社 （株）グリーン藤川 グリーンリメイク（株） （株）タカオカ 三笠紙工業（株）	連結子会社 Spicers Limited ※2019年7月 連結子会社化 Antalis S.A.S. ※2020年7月 連結子会社化 DaiEi Papers (USA) Corp. 慶真紙業貿易（上海）有限公司 DaiEi Papers (H.K.) Limited DaiEi Papers Korea Co.,Ltd. DAIEI PAPERS TRADING INDIA PVT.LTD. DAIEI PAPERS (S) PTE.LTD. KPP ASIA-PACIFIC PTE. LTD. 持分法適用関連会社 成都新国富包装材料有限公司

展開状況



※ 関係会社数、展開国数等はいずれも2021年3月末時点

「経営理念」「グループ企業行動指標」「経営ビジョン」の3層で形成

– グループ社員全員で共有。共通の価値観としてすべての活動の基本となる考え方。

KPP GROUP WAY

当社グループの存在意義・ミッション

- グローバル経営の充実と持続的な成長を目指します。
- 社員とその家族の幸福を追求するとともに株主・顧客・取引先・地域社会より信頼される企業を目指します。
- 循環型社会の実現と教育・文化・産業の振興に広く貢献します。

経営理念

当社グループが社会的責任を果たすための行動指標

- 「法令等の遵守」
- 「公正・自由・透明な事業活動」
- 「社会や取引先からの信頼の獲得」
- 「社会貢献活動の推進」
- 「積極的な企業情報の開示」
- 「国際社会との共生」
- 「職場環境の充実」
- 「自然環境との調和」
- 「反社会的勢力との関係遮断」

グループ企業行動指標

当社グループの描く経営ビジョン

Globalization

グローバルにビジネスフィールドを展開する

Innovation

“創紙力”で未来を開拓する

Function

提案力・企画力で付加価値を創造する

Trust

ステークホルダーの信頼に応える

+1 +1(プラスワン)当社グループは、この経営ビジョンのひとつひとつに環境、社会、ガバナンスなどへの取組みを+1として加え、サステナブルな社会の実現に貢献いたします。

経営ビジョン

GIFT+1

KPPグループ サステナビリティ基本方針

私たちKPPグループは「KPP GROUP WAY」の基本理念に基づき、総合循環型経営の展開を通して、持続可能な社会の実現に貢献します。また、私たちは環境や社会、そしてガバナンスを経営の重要事項として捉え、事業活動に関わる重要課題の解決に取り組みます。

KPPグループ マテリアリティ

– KPPグループのマテリアリティとしてグループ全体に共有

グローバル展開

- ・ グループシナジー創出
- ・ インナーコミュニケーション

DXへの対応

- ・ エコマースの展開
- ・ 新システム開発

グリーンビジネスの展開

- ・ プラスチック汚染問題の解決
- ・ リサイクルや廃棄物の削減

気候変動対策

- ・ 温暖化防止ソリューションの開発
- ・ CO2排出量削減

ダイバーシティ&インクルージョン

- ・ 多様性の確保
- ・ 多様な人材の活用

ガバナンスの強化

- ・ コンプライアンス
- ・ 情報セキュリティ

1

会社概要

2

2022年3月期 第2四半期業績

3

第2次中期経営計画 進捗状況

4

事業内容・戦略

5

参考資料

新型コロナウイルス感染症による当社ビジネスへの影響

- 海外市場の事業環境が良好に推移

国内市場

- ・ **第2四半期累計期間（2021年4月～9月）**
- 複数回の緊急事態宣言の発令・まん延防止等重点措置の発出による外出自粛やイベント中止が影響し、主にグラフィック用紙の販売と紙器用板紙の販売に影響

海外市場

- ・ **第2四半期累計期間（2021年1月～6月）**
- 欧州は第3波やデルタ株の拡大があったが、第2四半期（4-6月）に経済活動が再開
- 豪州は第1四半期（1-3月）にデルタ株の拡大によるロックダウンが実施されたが影響は限定的全体を通して回復基調にあり

当社ビジネスの環境

国内市場

- ・ 緊急事態宣言発令の影響を最も大きく受けた前年と比較すると、カタログ、チラシ等のグラフィック用紙を中心に販売数量が大幅に回復したが、7月の緊急事態宣言の再発令により、回復は限定的
- ・ 紙器用板紙は回復傾向にはあるものの、緊急事態宣言発令下の中、自粛傾向が強かったことにより、回復は限定的

海外市場

- ・ 欧州：ペーパー事業の業績が拡大。パッケージ事業はコロナ禍で需要高まる。ビジュアルコミュニケーション事業はイベント再開で好調。
- ・ 豪州：Direct Paper社およびRojo Pacific社のM&A効果が顕在化。パッケージ事業およびサイン&ディスプレイ事業が*伸長。
- ・ 中国：いち早いコロナ対策により中国経済が好調。市況価格の急騰により、業績が急回復。

※ サイン&ディスプレイ事業……当社事業セグメントにおいてはビジュアルコミュニケーション事業として集計

売上高 2,691億円 (+61.6%)、営業利益が黒字化

売上高

- ・ 前期に買収したAntalis（前期3Qから連結開始）の業績が上乘せ（+110,501百万円）。大幅増収。

営業利益

- ・ 前期発生した香港・中国における貸倒引当金繰入額（△8,130百万円）の影響なくなり一転黒字化。
- ・ Antalisの業績上乘せに加え、コロナ禍明けの豪州事業の好調や市況の上昇により。大幅増益。

経常利益

- ・ 上記に関連する貸倒引当金の戻入720百万円および為替差益362百万円の計上により営業利益を上回る。

	2021年3月期	2022年3月期			通期業績予想
	第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	前年同期 増減額	前年同期 増減率	
(単位：百万円)					
売上高	166,594	269,133	+102,539	+61.6%	545,000
売上総利益	11,322	43,944	+32,622	+288.1%	-
販売費及び一般管理費	18,888	40,122	+21,233	+112.4%	-
営業利益	△7,566	3,822	+11,388	-	5,900
経常利益	△8,218	4,205	+12,424	-	5,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	△7,236	3,485	+10,722	-	4,200

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の2022年3月期第2四半期実績は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

海外拠点売上高が1,446億円（+220.8%）と大幅増

国内拠点

・ 緊急事態宣言発令の影響を最も大きく受けた前年同時期から回復を見せる。段原紙は引き続き堅調。

海外拠点

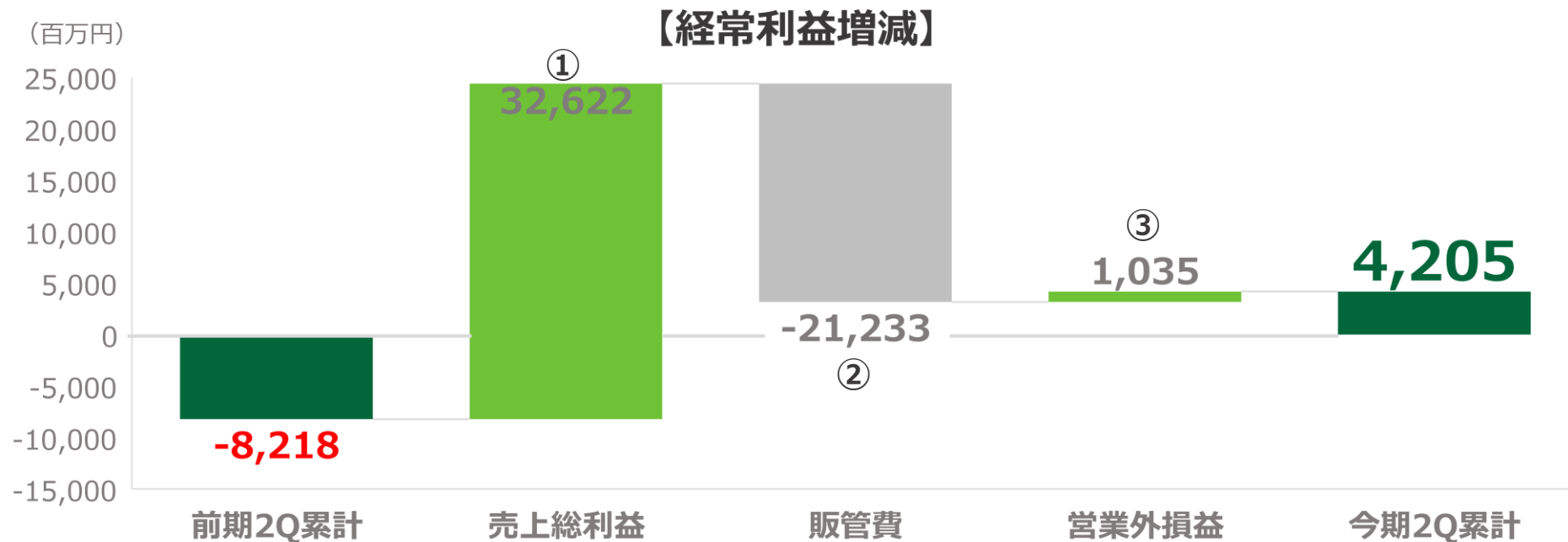
・ Antalisの売上高上乘せに加え、欧州・豪州など各拠点において順調に経済活動が再開。

不動産賃貸

・ 主力のKPP八重洲ビルが満室稼働を継続だが、同ビルの土地売却に伴う賃料発生などにより減益。

		2021年3月期	2022年3月期		
		第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	前年同期 増減額	前年同期 増減率
(単位：百万円)					
国内拠点 紙パルプ等卸売事業	売上高	120,879	123,863	+2,983	+2.5%
	セグメント利益	1,640	2,447	+806	+49.2%
	利益率	1.4%	2.0%	-	+45.6%
海外拠点 紙パルプ等卸売事業	売上高	45,090	144,647	+99,557	+220.8%
	セグメント利益	△ 8,202	2,752	+10,954	-
	利益率	-	1.9%	-	-
不動産賃貸事業	売上高	623	622	△ 1	△ 0.3%
	セグメント利益	339	86	△ 253	△ 74.6%
	利益率	54.4%	13.9%	-	△ 74.5%
合計	売上高	166,594	269,133	+102,539	+61.6%
	営業利益	△ 7,566	3,822	+11,388	-
	利益率	-	1.4%	-	-

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の2022年3月期第2四半期実績は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。



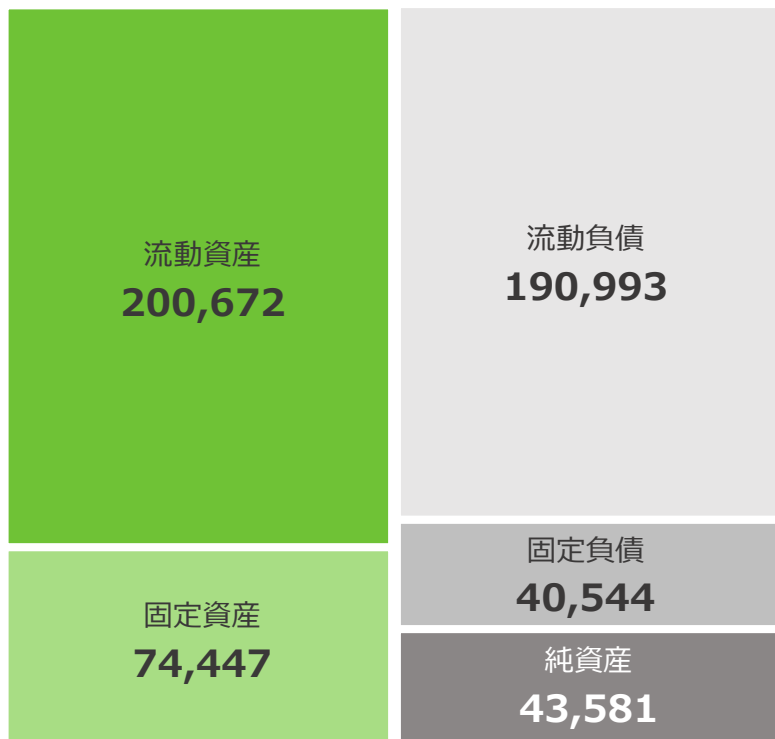
増減要因

利益率の高いAntalisが大きく寄与

- ① ・ 売上総利益 **32,622**
- 売上高増収効果 16,742
 - ※ 増収金額：海外拠点 99,557 (Antalis 110,501 Spicers 4,808 香港 △19,993 他)、国内拠点 2,984 (KPP 3,808 他)
 - 利益率上昇効果 15,880 (利益率の高いAntalisの買収により、連結の利益率が6.8%→16.33% (+9.53%) へと上昇)
- ② ・ 販管費 **21,233**
- Antalis 27,261、貸倒引当金繰入額 △8,112 他
- ③ ・ 営業外損益 **1,035**
- 営業外収益 984
 - 受取利息 △278 (香港 △315 他)、為替差益 332、貸倒引当金戻入 723 (慶真 720 他)

2021年3月期末

(百万円)

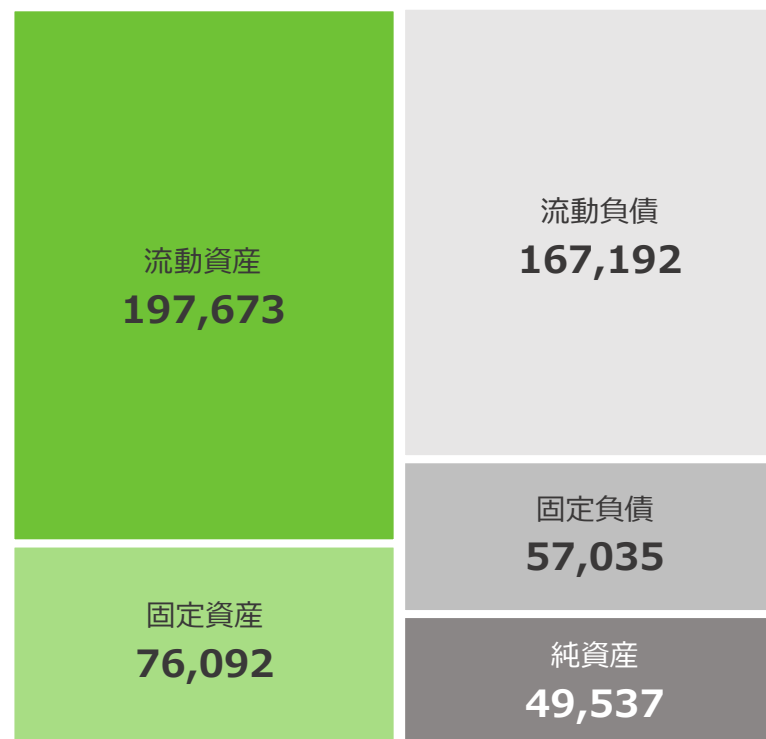


総資産 275,119

2022年3月期

第2四半期末

(百万円)



総資産 273,765

■ 流動資産
△2,999

■ 固定資産
+1,644

■ 流動負債
△23,800

■ 固定負債
+16,490

■ 純資産
+5,955

増減のポイント

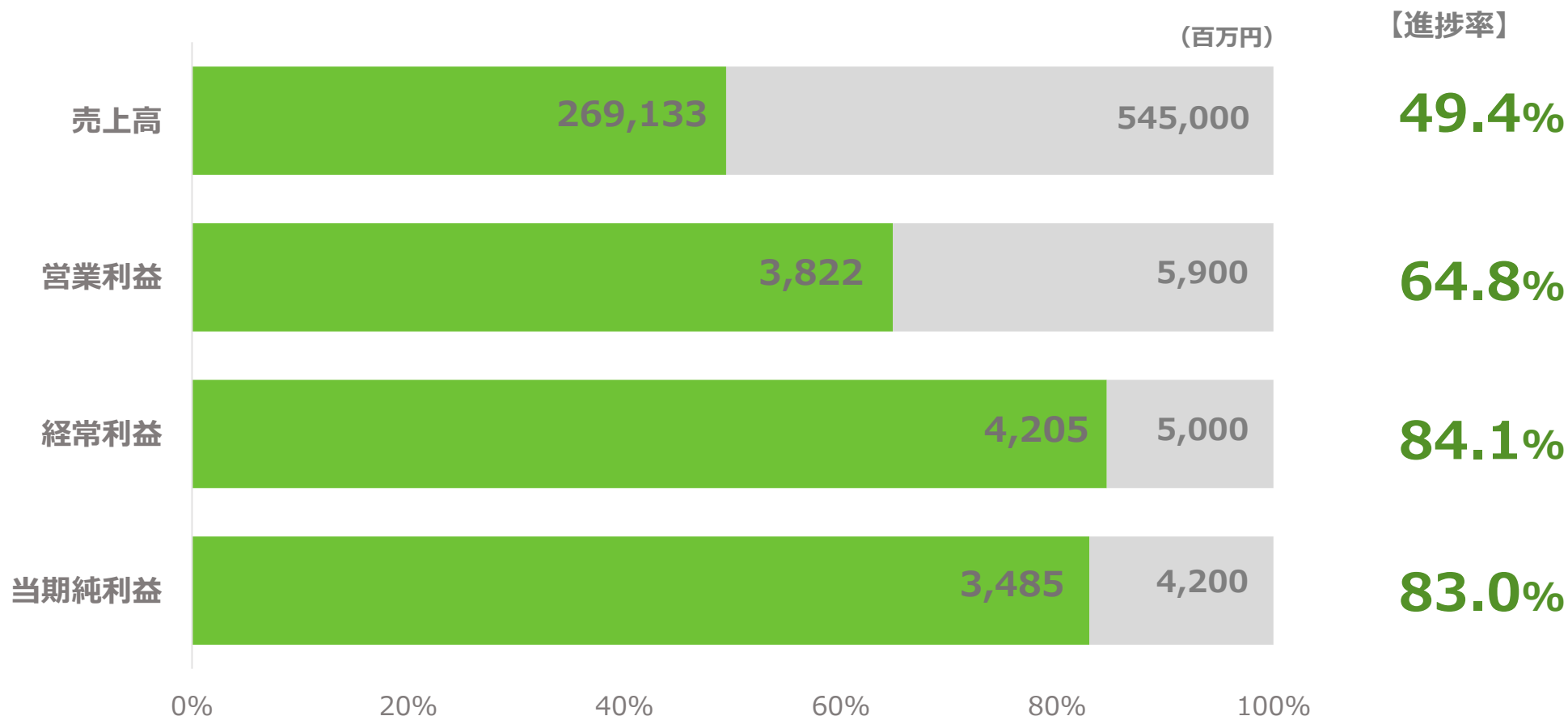
✓ 自己資本比率

15.8%から18.1%へ改善

✓ D/Eレシオ (負債資本倍率)

1.91倍から1.55倍へ改善

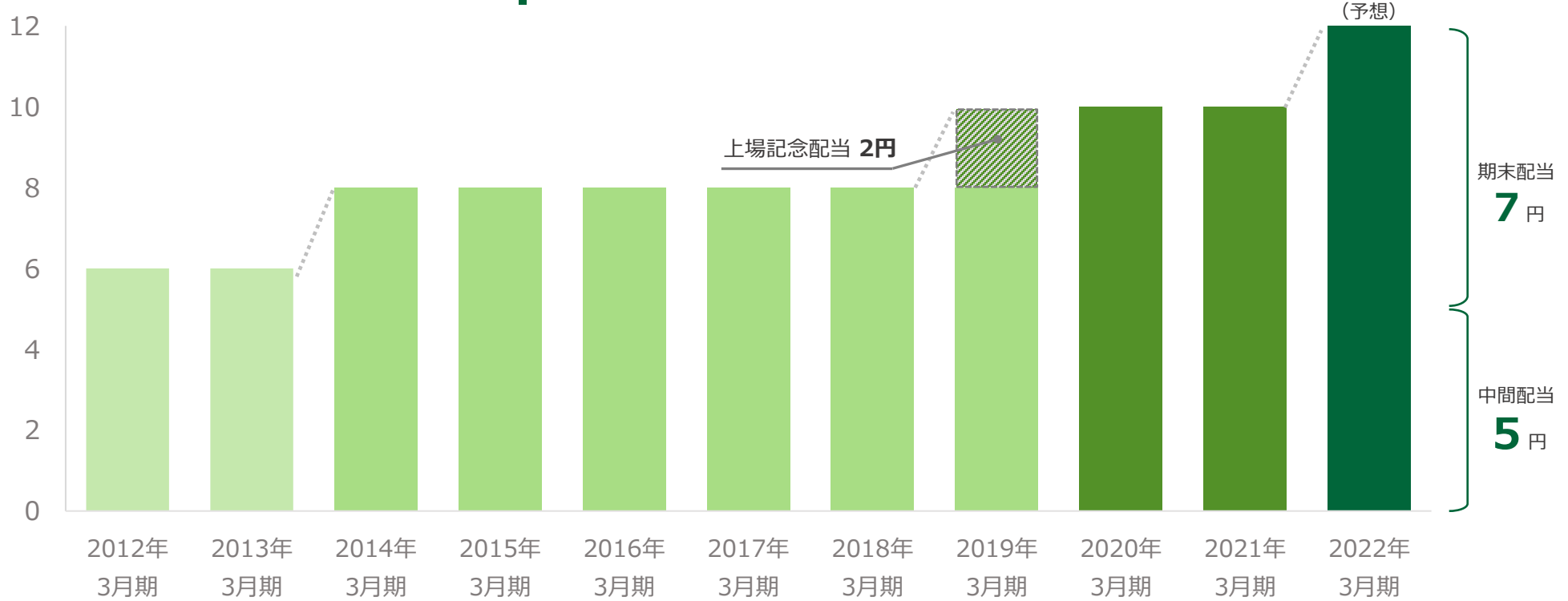
通期業績予想に対する進捗率（2021年8月11日公表の上方修正値）



営業利益：紙・パルプ市況の上昇や海外の高付加価値ビジネスの好調により粗利率が向上。進捗率は50%を上回る64.8%。

経常利益：84.1%と進捗率は高いが、貸倒引当金の戻入723百万円と為替差益362百万円の影響が大きい。

1 株当たり配当実績 (過去10期)



2021年8月 配当予想の上方修正をリリース

買収したSpicersおよびAntalisが当社グループの収益に大きく貢献

→収益基盤が年度全体を通して強固になったことから初の中間配当を実施し、年間配当予想を12円へ増配

今後も投資と株主還元のバランスを鑑みつつ利益成長による増配を目指す

1

会社概要

2

2022年3月期 第2四半期業績

3

第2次中期経営計画 進捗状況

4

事業内容・戦略

5

参考資料

長期経営ビジョン「GIFT+1 2024」

- 2016年度からスタートした長期経営ビジョン「GIFT+1 2024」の第2次は今年度で最終。
来年度より第3次がスタート。**グローバル経営**のステージへ。

原料事業を拡大

海外市場にフォーカス

成長エンジン・海外展開へ投資

グローバル経営
総合循環企業の確立

創立100周年に向けた
総仕上げ

収益力の強化

事業ポートフォリオの組み替え

東京証券取引所
新規上場
(2018年6月)

Spicers
連結子会社化
(2019年7月)

Antalis
連結子会社化
(2020年7月)

現在

第3次中期経営計画
公表予定
(2022年6月)

創立100周年
(2024年)

事業構造改革期

事業育成期

事業完成期

2016年度

2017年度

2018年度

第1次

2019年度

2020年度

2021年度

第2次

2022年度

2023年度

2024年度

第3次

中期経営計画

中期経営計画

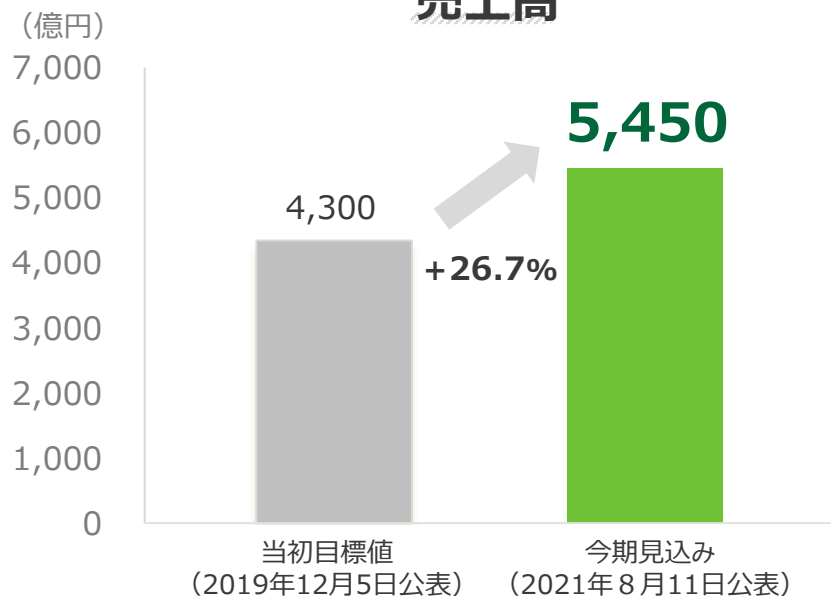
第1次

第2次

第3次

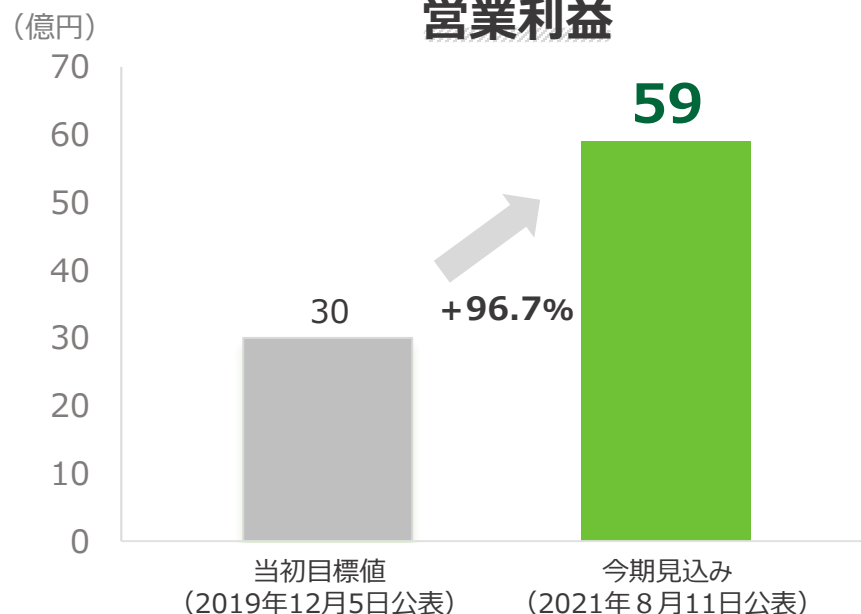
2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度

売上高



+1,150億円

営業利益



+29億円

- 地域戦略、および事業ポートフォリオ改革・利益構造改革が、海外を中心として順調に進む
 - グローバル展開の伸長により、売上高・利益共に海外セグメントが国内セグメントを上回る

➤ 第2次中期経営計画までに行った上記取り組みの結果、目標値を大きく超過して達成する見込み。

1

会社概要

2

2022年3月期 第2四半期業績

3

第2次中期経営計画 進捗状況

4

事業内容・戦略

5

参考資料

異なる地域で、3種類のビジネスモデルをハイブリッドかつグローバルに展開



(当社モデル)



(海外の紙商モデル)

Paper Trading 型

海外モデル

ミッション

紙・板紙および製紙原料における
グローバルネットワークを活かした
トレード事業

粗利率

約**3%**



Paper Distributor 型

国内モデル

ミッション

インデントビジネス（委託販売）と
ストックビジネス（在庫販売）を
両立させた紙関連卸売事業

粗利率

約**6%**



Paper Merchant 型

M&Aによる海外事業

ミッション

大型の物流機能と配送機能を保有し
断裁加工や自社ブランド商品の販売による
高付加価値ビジネス

粗利率

約**25%**



※ 当社…国際紙パルプ商事(株) 単体を指す

各地域に適したビジネスモデルを展開し、収益性・効率性の最大化を図る

総合循環型ビジネスモデルを構築し、持続可能な社会の実現に貢献

・「**マテリアルリサイクル**」と「**サーマルリサイクル**」の両輪で構成

マテリアルリサイクル

再生資源の回収

特徴とサービス内容

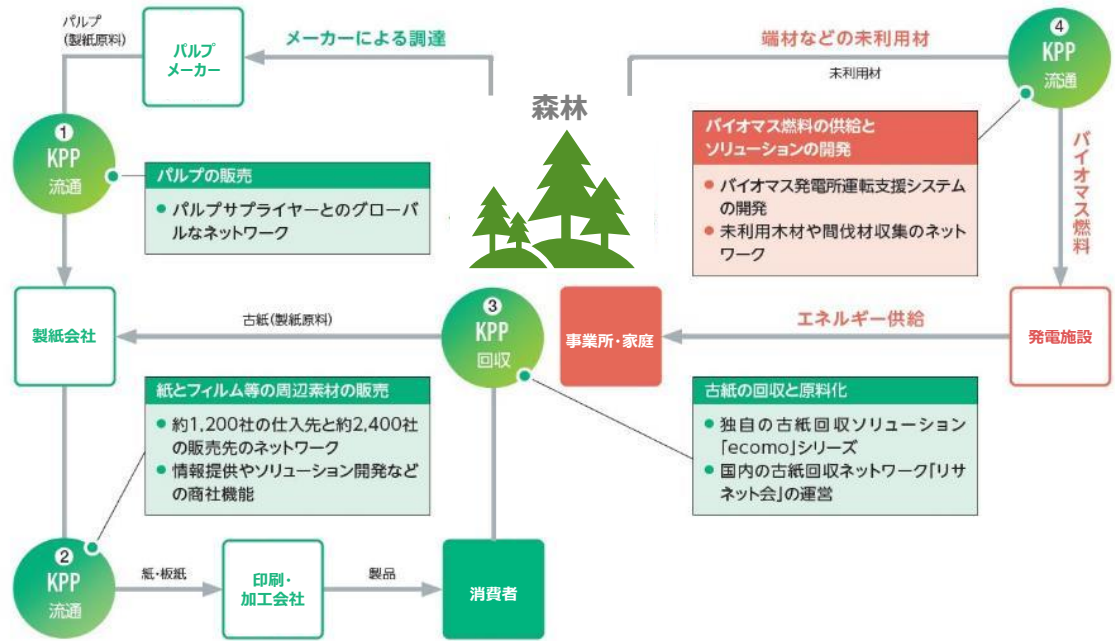
- 日本全国に張り巡らされた古紙問屋の回収網の活用
- 独自開発の「タウンecomо」や「オフィスecomо」による古紙回収ソリューション事業
- 「使う・捨てる・再資源化する」という一連の流れを見える化した、クローズドリサイクルサービス

サーマルリサイクル

バイオマス発電所運転支援等により再生可能エネルギーを供給

特徴とサービス内容

- 廃材や未利用材などのバイオマス資源を活用した発電事業など
- IoT技術を駆使したバイオマス発電所向けの運転支援システム「BMecomо」の展開



パッケージデザインの提案から設計・組み立てといったサービスを顧客へ一貫して提供

－ 付加価値を提供、高い利益率を確保

工業用途やフードサービス、Eコマースなど、顧客は多岐に亘る

Antalis パッケージデザインセンター

洗練されたオーダーメイドソリューションを通じ、お客様の抱える問題解決を実現。



標準製品

信頼性が高く、効果的な製品群でお客様に最適な包装ソリューションを提供。



カスタマイズパッケージ

製品や包装プロセスの専門家が提供するカットからサイズ、包装デザインに至るまでお客様の仕様に合わせたソリューションを提供。



オーダーメイドソリューション

パッケージングエンジニアが設計したパッケージングプロセスの最適化から製品保護まで、革新的で洗練されたパッケージングソリューションを提供。



パッケージ市場の規模とバリューチェーンの比率

- 欧州の市場規模が最大。中国、日本と続く。
- 日本においても20%のディストリビューション市場が存在。
- 欧州の市場規模は約9兆円。(アジアの9か国と同等以上の市場規模)
そのうちディストリビューション市場が10%を占める。

国	市場規模金額 (十億円)	製造メーカー比率	ディストリビューター比率 (卸商)	インターミディエート比率 (中間業者)
欧州	9,660	80%	10%	10%
日本	1,051	70%	20%	10%
中国	5,851	70%	15%	15%
韓国	597	70%	10%	20%
タイ	108	70%	17%	13%
ベトナム	73	75%	18%	7%
マレーシア	71	80%	15%	5%
インドネシア	315	75%	20%	5%
オーストラリア	192	60%	25%	15%

※ 当社調べ。市場規模金額は1ドル115円で計算。

店頭広告や看板、ラッピング、建造物といった視覚に訴える（＝ビジュアルコミュニケーション） ビジネスとのコラボレーション。欧州や豪州で需要が拡大中

- － 大判インクジェット印刷機（LFP）といったハードやインク等の消耗品をはじめ、サインージや室内装飾、カーラッピング用のメディアの供給など一貫してコーディネート。高い利益率を確保

屋外広告



車両グラフィック



作業風景



屋外サインージ



ホームテキスタイル



ホテル



レストラン



小売



病院



老人ホーム



※ 建築家・インテリアデザイナー・印刷/広告業者と連携し、Antalisのビジュアルコミュニケーションシリーズの製品を納品したプロジェクトの一例

ビジュアルコミュニケーション事業における様々な導入事例



① デジタル
プリント壁紙材



② バナースタンド



③ バナー



④ ガラス装飾
ウインドーフィルム



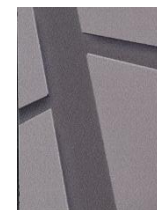
⑤ インテリア内装用
装飾フィルム



⑥ サイン用
マーキングフィルム



⑦ フロア・壁用
装飾フィルム



⑧ サイン用
アルミ複合材

オセアニア地域における粘着ラベル事業

- ・ 日用品、食品・飲料品、医療・医薬、物流・流通、工業関連等、あらゆる分野においてサービスを提供
 - － 様々な異なる用途に対して、最適な表面機材、粘着剤、剥離紙・剥離フィルムの組み合わせを顧客に提案
 - － アジア、欧州を中心とする幅広いサプライソース
 - － 約100種類ある豊富な品揃え
 - － 自社でのスリッター加工で付加価値を提供。顧客の仕様に柔軟に対応



日用品



物流



医療



食品・飲料



その他



事業分野

（単位：億円）

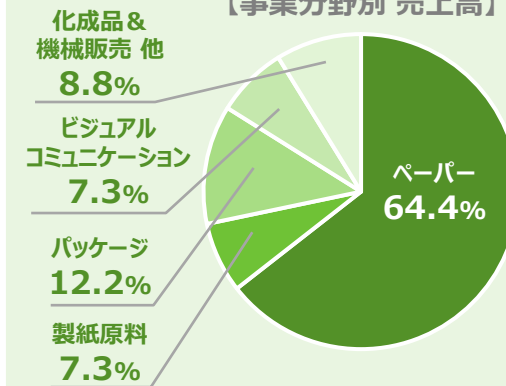
	ペーパー	製紙原料 (パルプ・古紙)	パッケージ	ビジュアル コミュニケーション	化成品& 機械販売 他	合計
日本 台/香/韓/米 (国際紙パルプ商事)	958	202	—	17	238	1,415
欧州/南米 (Antalis)	634	—	310	151	—	1,096
オセアニア (Spicers)	78	—	31	35	—	144
東南アジア・インド (KPP AP)	51	1	—	—	1	53
中国 (慶真紙業)	88	—	—	—	7	95
合計	1,809	203	341	204	246	2,803

地域

5つの事業分野

- ・ ペーパー・製紙原料（パルプ・古紙）
- ・ パッケージ ・ ビジュアルコミュニケーション
- ・ 化成品&機械販売 他
- ・ **Antalis・Spicersを買収**
- ・ **事業分野の多角化**

【事業分野別 売上高】



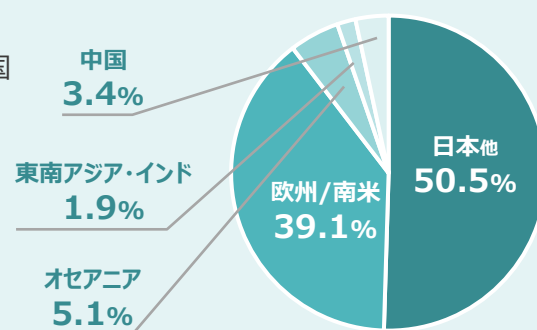
※2022年3月期第2四半期 累計売上高（個社別単純合算）

5つの地域展開

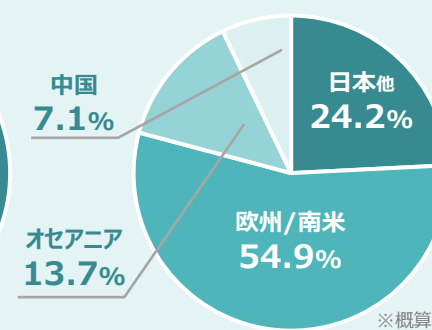
1. 日本/台湾/香港/韓国/米国
2. 欧州/南米
3. オセアニア
4. 東南アジア・インド
5. 中国

- ・ **グローバルに事業展開**
- ・ **面で市場シェアを獲得**

【地域別 売上高】



【地域別 営業利益】



内部経営資源（オーガニック）による成長に加え、
外部経営資源の獲得（インオーガニック）による成長を取り込み、持続的な成長へ

✓オーガニック・グロース

循環型ビジネスモデルの拡大

1. 古紙事業と製品販売の両立による循環型事業の更なる拡大
2. パルプ事業の強化
3. 紙・板紙卸売事業のシェア拡大とEC化の推進
および経費削減による利益の最大化
4. ソリューション事業の拡大



✓インオーガニック・グロース

外部経営資源の獲得による 事業領域の拡大

➤ M&Aでターゲットとする市場

ビジュアル
コミュニケーション
事業

パッケージ
事業

その他加工
事業

➤ 獲得する経営資源

ポートフォリオ

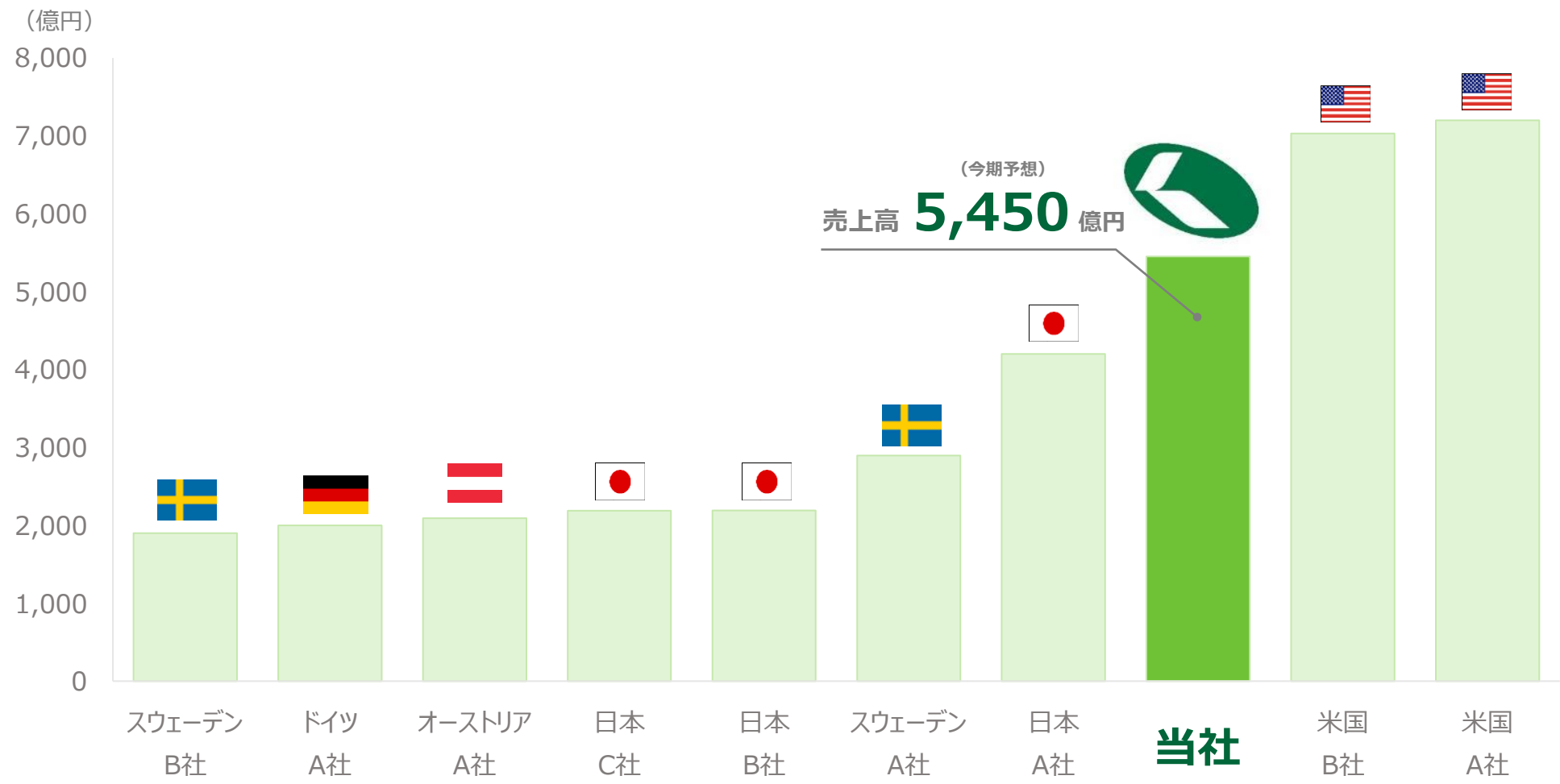
人材資源

経営ノウハウ

拠点・施設

持続的な成長へ

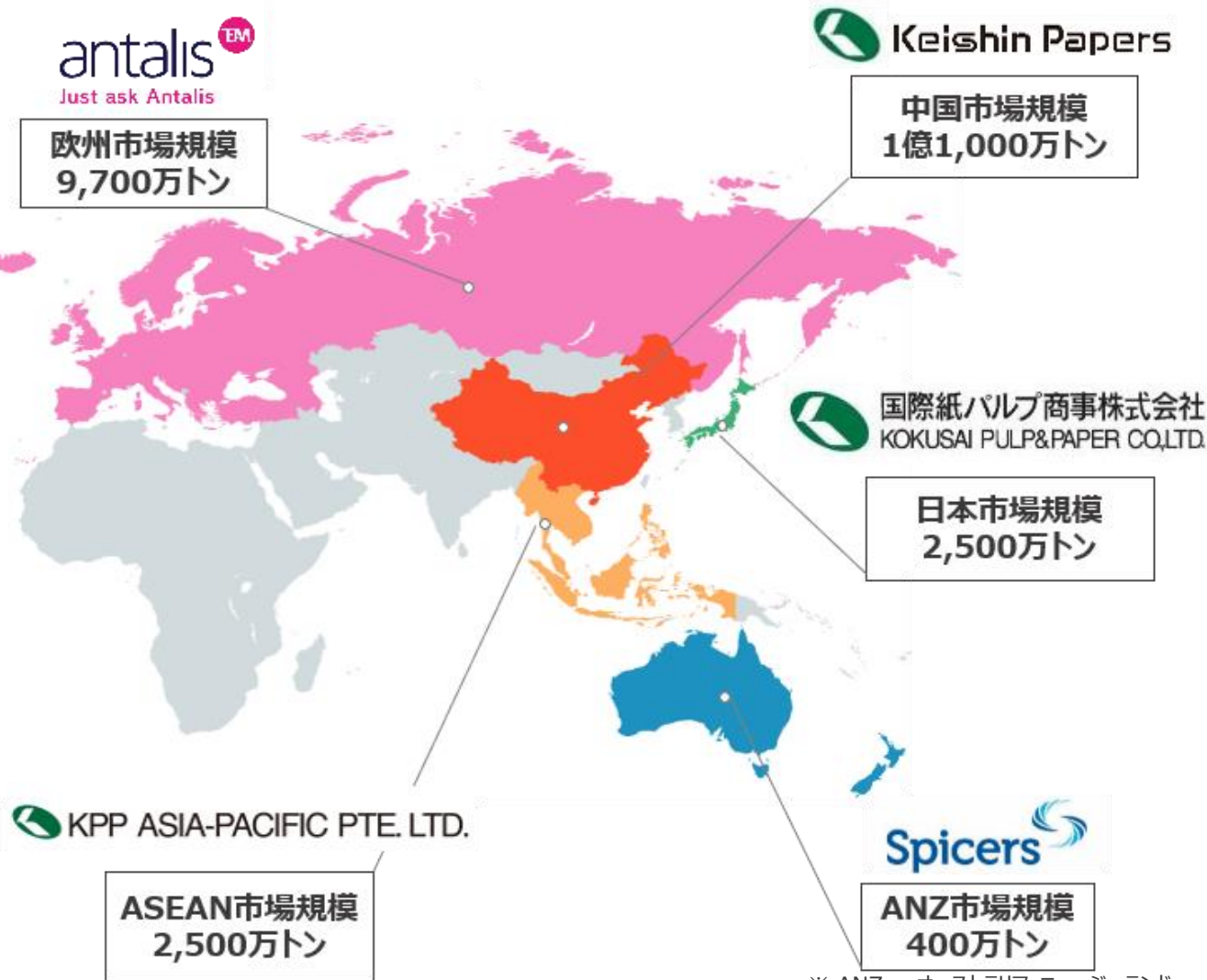
今年度、KPPグループは売上高規模で世界第三位の紙商社となる見通し (※ 当社調べ)



※売上高…当社および日本A社、日本B社においては今期予想。その他については直近期の実績
 ※紙商社…紙・パルプ製品およびパッケージ関連製品等の卸売を主要な事業とする専門商社

日本・欧州・ANZ市場を基軸とした成長市場への事業領域の拡大

世界の紙・板紙の市場規模（当社調べ）



※ ANZ・・・オーストラリア・ニュージーランド

✓ 成熟市場である日本・欧州・ANZ地域においては、ポートフォリオ改革による収益の最大化を図る

✓ 世界最大の市場規模である中国と成長が著しいASEANは慶真紙業（中国）KPP-AP（ASEAN）をベースにグループ企業再編成による事業拡大

持株会社体制への移行の検討開始を決議

【背景】

これまでの取り組み

- グローバルシェアの拡大・事業ポートフォリオ改革による収益の最大化を目的とした積極的な海外M&A
- 潜在的な需要拡大が期待されるASEANにおいてシナジーの最大化を図るためグループ企業を再構築

現状

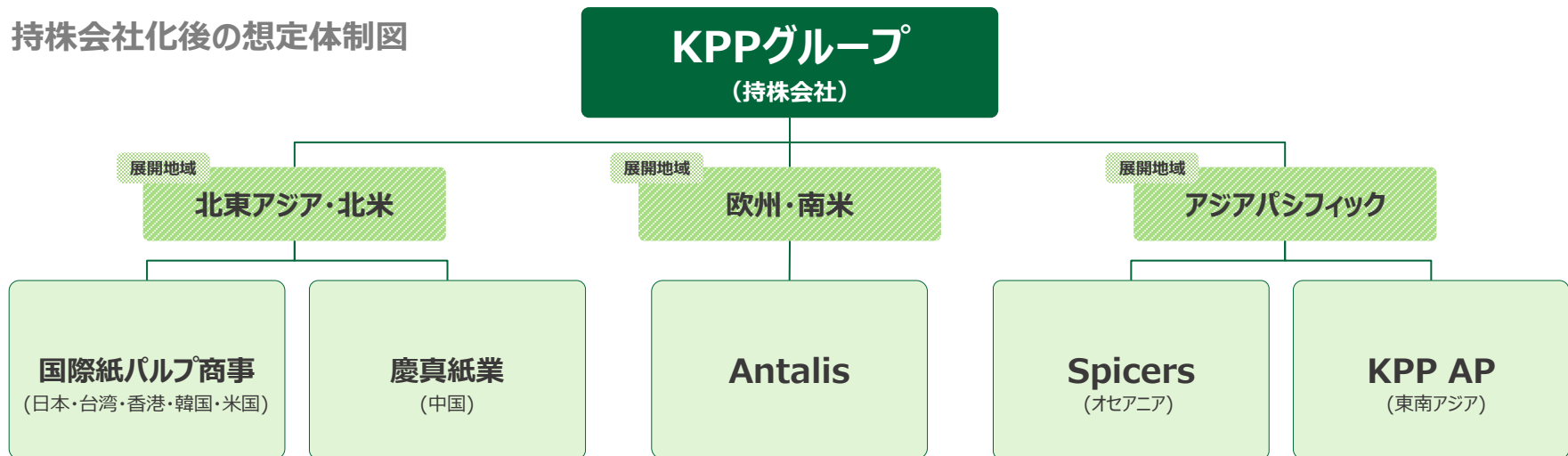
- 2022年3月期の海外売上高が全体の過半数を超える
- 事業規模においても、世界3大紙商社の一角を占める（※）

※ 当社調べ（紙商社…紙・パルプ製品およびパッケージ関連製品等の卸売を主要な事業とする専門商社）

【目的】

1. 事業規模の拡大に伴う
グローバル・ガバナンスの強化
2. ポートフォリオ改革および新規事業の拡大
3. サステナビリティマネジメントの推進

持株会社化後の想定体制図



※ 詳細につきましては、「持株会社体制への移行の検討開始に関するお知らせ」（2021年10月22日 開示）をご参照ください。

プライム市場への移行を目指し対応中

- 足元の状況や見通しを踏まえ、年内に実施する取締役会にて新市場区分の選択に関する決議を行い、開示を行う予定。
- 改訂後コーポレートガバナンス・コードへの対応も進行中。
(TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) と同等の枠組みに基づく開示、サステナビリティの取組みの開示など)

補足情報 (足元の状況)

(プライム市場)

- ・「新市場区分の上場維持基準への適合状況」

基準	判定*
流通株式数	
流通株式時価総額	✓
流通株式比率	
1日平均売買代金	✓

※ 新市場区分の上場維持基準を充たしていない項目に、「✓」を記載。

※ 東証より受領。2021年6月30日 移行基準日時点の判定。

東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の本日の終値で算出した流通株式時価総額^{※1}、及び2021年7月1日から本日までの1日平均売買代金^{※2}においては、「プライム市場」の上場維持基準を充足

※1 流通株式時価総額 100億円 以上

※2 1日平均売買代金 2,000万円 以上

流通株式時価総額及び売買代金における「プライム市場」の上場維持基準への安定的な充足を図るため、株式の売出しを実施。

※ 詳細につきましては、「株式の売出しに関するお知らせ」(2021年11月19日 開示)をご参照ください。

1

会社概要

2

2022年3月期 第2四半期業績

3

第2次中期経営計画 進捗状況

4

事業内容・戦略

5

参考資料

紙

新聞用紙、印刷用紙、情報関連用紙等を取り扱う。

紙の種類は多岐に渡っており、用途により性質、性状など、それぞれの適性にあつた提案を行う。

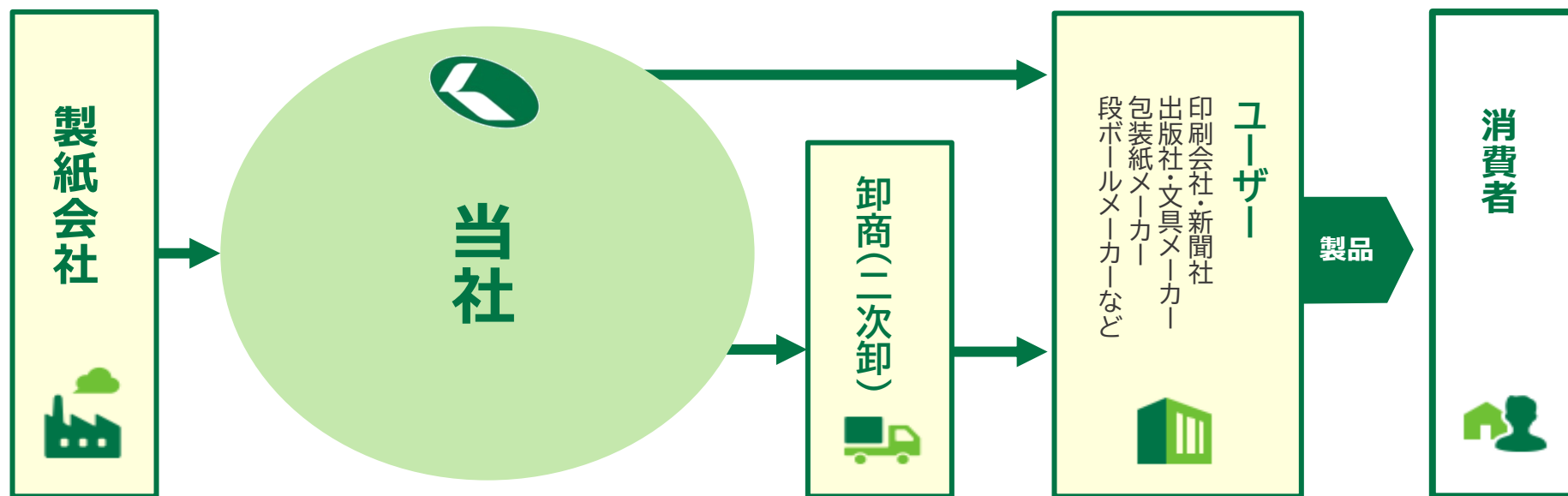


板紙

板紙は主に「段ボール原紙」「紙器用板紙」に大別され、パッケージ類に広く利用される。

「段ボール原紙」は段ボール箱を作るための原紙で、板紙全体の約8割を占める。

「紙器用板紙」はお菓子やティッシュ等の紙箱やカード等の原紙となる。



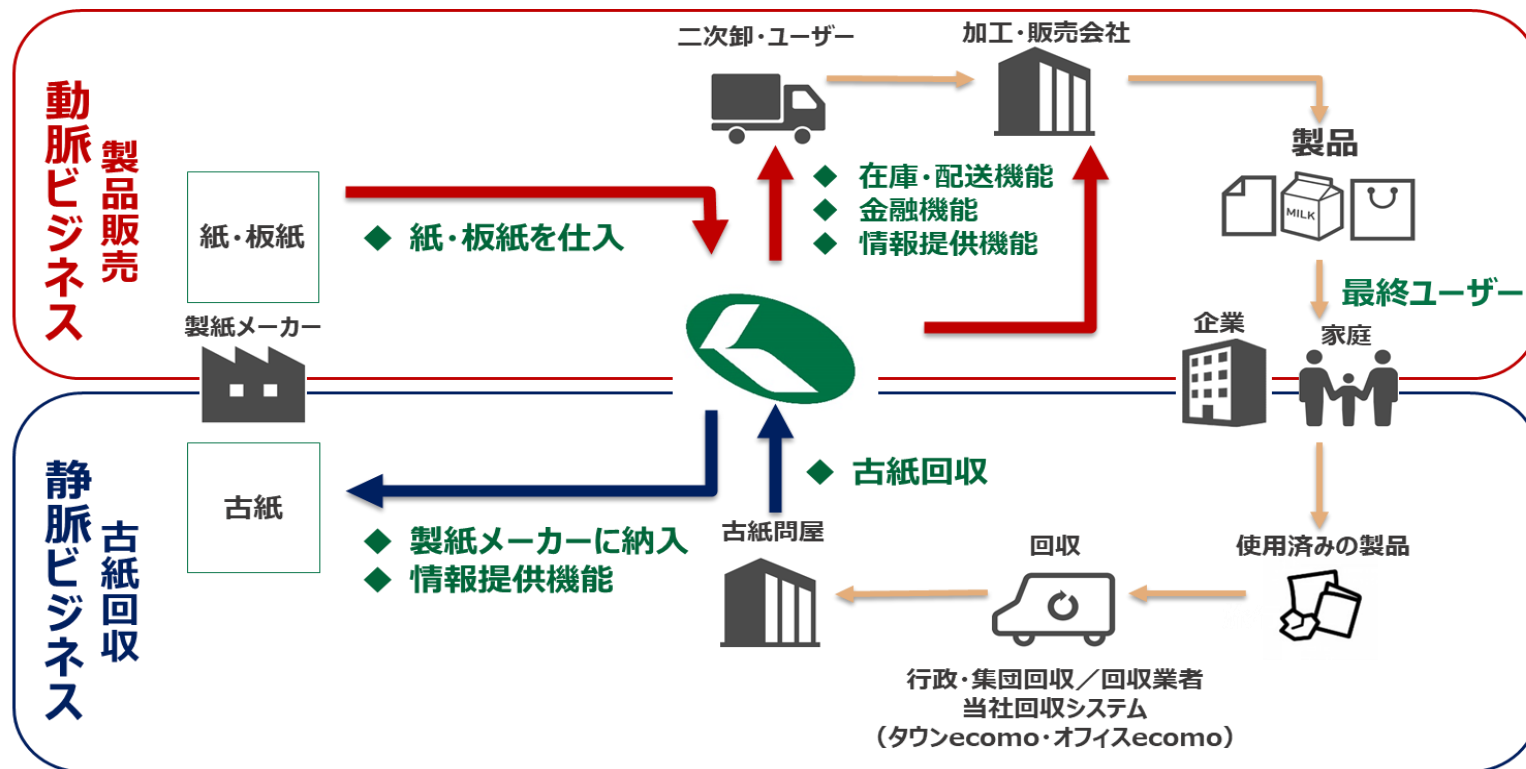
・ 独立系共通代理店

- 紙一次流通は主に製紙会社系列、総合商社系列、独立系共通代理店に分類される

製紙原料関連

現在、製紙産業全体で消費される原料の約 4 割はパルプ、残り 6 割が古紙。

国内外に広がるネットワークを利用して、パルプおよび古紙の調達と、製紙会社への販売を行う。



ペーパー事業



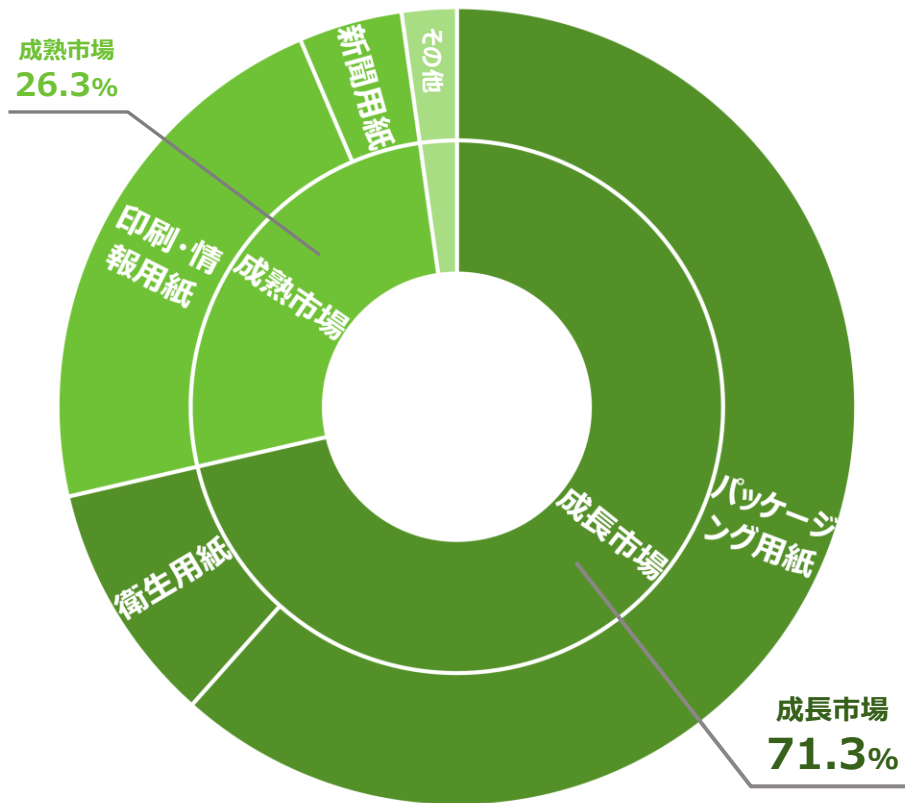
製紙原料事業

古紙の再資源化によるリサイクル産業

- 日本の製紙業界は、古紙の再資源化によるリサイクル産業であることが特徴
- 当社はその中でも重要な機能を担っており、持続可能な社会の実現に向けて長年取り組んでいる

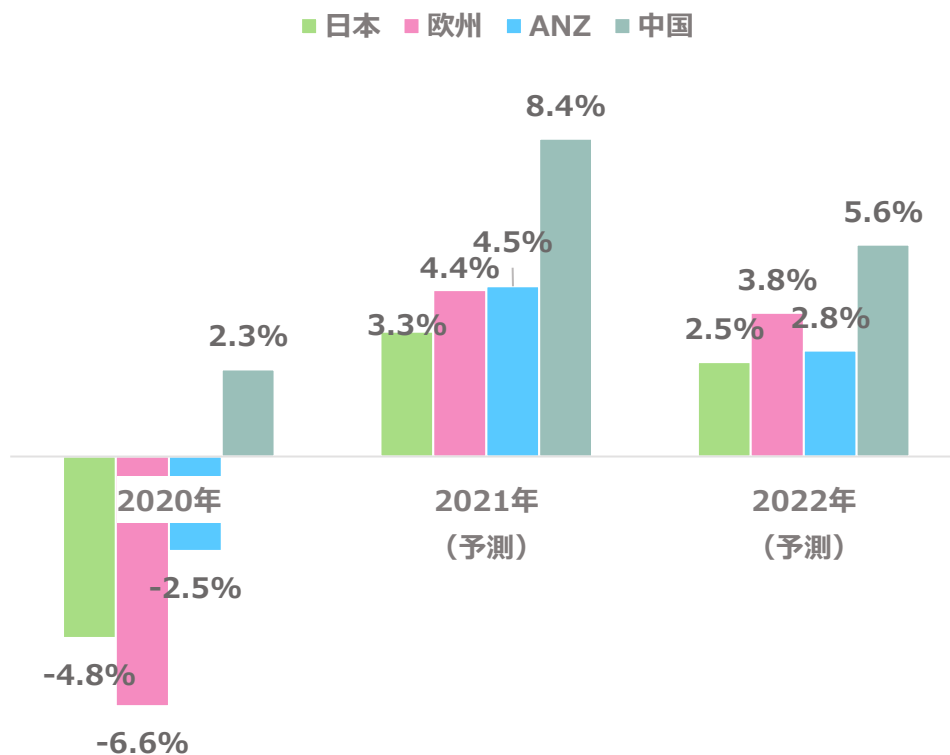
- 世界の紙・板紙生産量の2/3以上は成長市場であるパッケージ用紙や衛生用紙が占める
この分野の市場成長率はGDP成長率と連動
- 日本・欧州・ANZ共に2021年以降はGDP成長率がプラスに転じる見通し。中国は継続的に成長

世界の紙・板紙生産量*



(出所：FUTURE第13号 2021年4月発行)
※ 2019年度生産量

日本・欧州・ANZ*・中国 GDP成長率予測



(出所：IMF「世界経済見通し (WEO) 2021年4月」)
※ANZ：オーストラリア・ニュージーランド

当社グループのグリーンプロダクト

Green Products

紙化

- 海洋プラスチック汚染問題から、世界各国で使い捨てプラスチック規制の動きが加速し、代替素材としての紙の需要が高まっている。
- 近年では製紙メーカーを中心に研究開発が進んでおり、食品パッケージや日用・文具用品でも採用事例が増えている。
- 例) 紙製クリアファイル、スナック菓子の袋、買い物手提げ袋

減プラ

- プラスチックの持つバリア性や加工適性などの特性を損なわない程度に、製造技術の革新やバイオマス素材である紙・パルプを混成させることにより石油由来プラスチックの使用量を削減したものの。
- 例) 店頭POP用フィルム、アパレル試着用フェイスカバー、カトラリー

バイオマス素材

- プラスチックが持つ様々な特性、他の素材には簡単に切り替えることが困難なケースも多いため、環境負荷低減に向けた研究が進んでいる。バイオマス原料より製造される「バイオマスプラスチック」と、微生物により生分解される「生分解性プラスチック」が挙げられる。
- 例) レジ袋、食品トレイ、ストロー

紙製クリアホルダー



アパレル向け試着用フェイスカバー



紙製ストロー



減プラ対応カトラリー



ecomomo Closed Recycle Service

エコモ クローズドリサイクルサービス

- ・ 当社リサイクルブランドである「ecomomo」シリーズ
- ・ クローズドリサイクルの提案から構築まで提供。
- ・ 古紙の回収・納入データを一元管理（＝可視化）

特設サイト：<https://ecomomo.closedrecycle.jp/>



お客様に自社のリサイクルのリアルタイムな可視化や利便性といった付加価値を提供することで収益力の強化へ

ビッグデータ解析やAI・IoT等の最新テクノロジーを活用し、バイオマス発電所の運転管理・設備管理・事業管理の支援を目的とした運転支援システム



BM ecomo
Biomass Meister

- 当社発案のバイオマス発電所運転支援システム
- 2018年9月 開発発表
- 2019年10月 実証運転を開始
- 2021年11月 サービス利用に関する契約を締結

特設サイト：<https://bmecomo.com/>

BMecomomoの特徴

- ① 遠隔監視による情報共有・可視化
- ② 設備の保全
- ③ 燃焼の効率化（運転ノウハウの継承）

運転技術の最適化・合理化

×

収益・コストの最適化

バイオマス発電所の収益最大化



1枚から紙を買えるネット通販
PAPER MALL

<https://www.kpps.jp/papermall/>



当社が運営するウェブサイト「ペーパーモール」では、約**1,000種類**の**一般紙、特殊紙及び紙製品**を取りそろえており、**紙1枚から購入**することができます。

サンプルや見本帳が無料で注文できるほか、一般紙を**ご希望のサイズに断裁する加工サービス**を行い、お客様の幅広いニーズを満たします。

環境配慮商品「Green Products」シリーズ（下記参照）のラインアップを強化し**SDGs**に取り組まれるすべてのステークホルダー様のお役に立ちます。

国際紙パルプ商事のネットワークにより**迅速な配達**ができること、紙の業界ニュースなど**紙に関わる最新情報**をチェックできるほか、紙に関する質問やご相談も受け付けるなど、**紙のスペシャリストである当社の強み**を生かした**紙関連総合サイト**です。

■ **Green Products** ~環境配慮商品~



<https://www.kpps.jp/papermall/greenproducts/>



・ **紙化**

海洋汚染の原因となるマイクロプラスチックです。プラスチックに替わる素材の開発が求められています。紙を原料とした製品に切り替える「紙化」に取り組んでいます。



・ **減量プラスチック**

プラスチックの特性を維持しながら、他の素材を混入してプラスチックの使用量を減らしていきます。プラスチックの減量に向けた素材や製品の開発を進めています。



・ **バイオプラスチック**

堆肥として土に還り、微生物など自然界の中で分解され残存しないプラスチック。生分解性のプラスチックやバイオマスプラスチックの可能性を求めて、素材・製品の開発を進めています。

統合報告書 (2021年10月発行)

当社の財務情報と非財務情報を統合的に記載したレポート。
ESGやサステナビリティ戦略を豊富に記載しております。



<https://www.kppc.co.jp/ja/ir/library/integrated.html>

TSUNAGU (2021年10月発行)

当社のニュースに加え、紙を使ったアーティストや伝統工芸、紙にまつわる様々な話題をご紹介しますことで、みなさまに紙の魅力をお伝えします。



<https://www.kppc.co.jp/ja/tsunagu.html>

—お問い合わせ先—

国際紙パルプ商事株式会社 コーポレート・コミュニケーション室

TEL : 03-3542-4169

URL : <https://cloud.swcms.net/kppcPublic/ja/contact/inquiry1.html>

免責事項

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

－ お問い合わせ先 －

国際紙パルプ商事株式会社 経営企画課

E-Mail : kpp_ir@kpp-gr.com

URL : <https://cloud.swcms.net/kppcPublic/ja/contact/inquiry1.html>



紙でつなぐ、未来をつくる

KPP Group